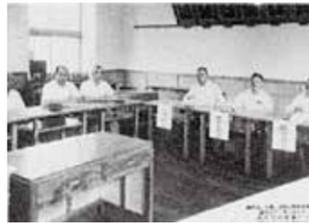


## 御代田町の沿革 (抜粋)

- 昭和31年(1956) 小沼村・御代田村・伍賀村の3村が合併し「御代田町」が誕生
- 昭和34年(1959) 「久保沢橋」の完成
- 昭和35年(1960) 旧3校を統合した新たな「御代田中学校(旧校舎)」の開校
- 昭和39年(1964) 「露切橋」の完成
- 昭和42年(1967) 「御代田町役場(旧庁舎)」の完成
- 昭和46年(1971) 「新御代田駅」が完成
- 昭和52年(1977) 小沼・御代田・伍賀小学校の3つの小学校を統合した「御代田南小学校」と「御代田北小学校」の開校
- 平成4年(1992) 「雪窓公園」の完成
- 平成6年(1994) 「雪窓保育園」を開園、「やまゆり公園」の完成
- 平成10年(1998) 「龍神の杜公園」の完成、「やまゆり工業団地」の造成完了
- 平成15年(2003) 「複合文化施設まなびの館エコールみよた」の開館
- 平成23年(2011) 「御代田中学校(新校舎)」の開校、「学校給食共同調理場(親子方式)」での給食開始
- 平成24年(2012) 「浅間しゃくなげ公園」の完成
- 平成27年(2015) 「信州みよたクラインガルテン大星の杜・面替」の完成
- 平成30年(2018) 「御代田町役場(新庁舎)」の開庁
- 令和2年(2020) 「町内小中学校の給食費無償化」を開始



合併調印式(1956)



久保沢橋完成(1959)



御代田中学校(旧校舎)(1960)



露切橋完成(1964)



役場庁舎(旧庁舎)(1967)



御代田駅完成(1971)



雪窓公園完成(1992)



龍神の杜公園完成(1998)



エコールみよた開館(2003)



御代田中学校(新校舎)開校(2011)



信州みよたクラインガルテン大星の杜・面替完成(2015)



役場庁舎(新庁舎)開庁(2018)



町内小中学校の給食費無償化(2020)



問い合わせ先 企画財政課企画係 (32) 3112

# 御代田町人口16,000人到達

## ～町の歩みを振り返る～

### クイズの結果

- 到達日：令和3年7月12日
- 応募総数：492件
- 正解者：3名

たくさんのご応募  
ありがとうございました。



16,000人目の方とくす玉割り

町では、平成8年(1996)に「2万人公園都市構想」を掲げ、人口減少社会においても着実に人口を伸ばしてきました。人口16,000人到達が確かな情勢となってきたことから、その到達日を皆さんに予想していただき、正解者には豪華景品を贈呈するクイズを4月から5月にかけて実施しました。

そして、令和3年7月12日に、住民基本台帳に基づく人口が初めて16,000人に到達しました。また、人口16,000人到達を記念して、セレモニーを開催しました。

### これまでの御代田町の歩み

今もなお、人口が増え続け成長を遂げている御代田町のこれまでの歩みを振り返っていききたいと思います。

現在の御代田町は、昭和31年(1956)に小沼村・御代田村・伍賀村の3村が合併し、人口約8,000人の町として誕生しました。以来、平成8年(1996)に「2万人公園都市構想」を掲げ、道路・下水道・公園等のインフラ整備を推進して、生活環境の充実を図るとともに、中学校・保育園・学校給食の統廃合、さらには「やまゆり工業団地」を造成して工業振興の基盤を整えるなど、財政基盤の確立を図ってきました。

このように、第1次から第4次長期振興計画に基づいた計画的・効率的なインフラ整備による「住みやすさ」に特化したまちづくりに加え、令和2年(2020)からの小中学校の給食費無償化など子育てに優しい施策など、計画的なまちづくりを確実に進めてきたことにより、全国的には人口減少社会である中、町の人口は増加しており、移住者の方から高い評価を受けています。

最近では、大東建託株式会社賃貸未来研究所が実施した「街の住みこちランキング2021(長野県版)」が発表され、昨年4位であった御代田町が今年は1位に選ばれました。実際にお住まいの方への調査結果ということですので、大変うれしい結果であります。

今後も、先人の方々の知恵と精神により、築き上げられた現在の町の歴史と伝統を守り、まちづくりを進めていきます。